

第2回みんなで文化交流の杜をつくる会 概要

1. 開会

2. 今日のワークショップの目的と進め方について

別紙により谷津教授が説明

3. 移動と現地視察

- ・旧鹿角組合総合病院跡地へ徒歩で移動
- ・解体工事を担当している小坂建設・田中工務店特定建設工事共同企業体 木村現場事務所長が解体工事の概要、視察時の注意事項を説明
- ・説明後、全員で本館棟屋上から敷地全体を視察
- ・以後、グループごとに敷地内、敷地周辺を視察
- ・視察終了後、再び徒歩で花輪市民センターへ移動
- ・配布したメモカードに各自で敷地に関するテーマ(活かしたいこと、心配なこと、屋外、建物周辺のイメージ)を記入し、各グループの大学院生に提出

4. ワークショップ作業(個別グループ)

- ①「外部計画の広場と緑地」、「市民交流空間の使い方」の2つの検討テーマのイメージを自由に発言
- ②イメージから思い浮かんだキーワードや提案を各自付箋紙に記入
- ③順番に付箋紙に記入した内容を口頭で説明しながら模造紙に貼付け
- ④関連する付箋紙を話し合いによりグループ化し、模造紙内に再配置
- ⑤付箋紙のグループや各付箋紙のうち重要と思われるものに一人10枚のシールの持ち点で投票
- ⑥得点が多いものを中心に意見の概要を簡潔に模造紙上に記入
- ⑦発表者を決め、プレゼンテーションの準備

5. ワークショップ作業(全体)

- ・模造紙がまとまったグループから会場正面の黒板に模造紙を掲示
- ・掲示順に各グループの代表者が発表し、質疑応答

発表内容

A班

- ・現地を屋上から見ると、花輪の市街は意外と緑が少ない。市民広場には「もり」をイメージする樹木が欲しい。市の木のナナカマドなどを。寛げる木陰が欲しい。
- ・飲食のスペースが欲しい。外、内をあまり区別せずに行き来出来るような。中の飲食スペースに外から気軽に入れるような。
- ・ギャラリーが必要。市には美術館が無く、市民の作品の発表の場が無い。MITでは高校生とか若い人がバンドの発表をしているが、(使用料が)高い。広場に集まる人が簡単に見られるようなギャラリーがあれば良い。
- ・交流広場に産直の販売や花輪ばやしの屋台が展示出来る設備が欲しい。
- ・建物内だけではなく、駅からの道路も含めて周りとの関係も考慮して欲しい。青垣山がきれいなので

それとの調和を最初から考えて欲しい。

D班

- ・屋外は外周をぐるっと廻って散歩が出来たり、お花見やピクニック、子供が楽しめる遊具が欲しい。
- ・敷地の囲いは桜の木やどんぐりなどの広葉樹を。
- ・屋外広場は平坦ではなく、なだらかな丘で、冬はそり遊びが出来る起伏があるように。芝生や小川、池も。
- ・市民交流空間の中心に噴水、動くモニュメント、市の特産品をPR出来る大きなモニターを。
- ・屋内に「杜」をイメージした植樹を。
- ・屋内広場に老人が憩える量のスペース、気軽にお茶が飲めるスペースを。サークルの活動の場、フリーマーケットが開催できるスペース、施設のイベント紹介や利用者の声の掲示板を。
- ・屋外の広場が内部から見えるように。
- ・天候に左右されない屋内や地下の屋根のある駐車場を。

B班

- ・安心、安全なアクセス道路。周辺の改良や、イベント時は出入りの道路を別けて円滑に。
- ・搬入路は植樹するなど隣接する民家にうるさくならないように。
- ・歩行者に配慮した歩道の整備を。
- ・周りを散歩やジョギングで一周出来るように。
- ・夜間は周囲に迷惑にかからない程度で、かつ真っ暗にならない程度に照明を。
- ・市民が安らげる緑地を。芝や花壇、植栽。
- ・外の広場でミニコンサートを。
- ・広場と駐車場はフェンスで区切るなどして完全に分けて子供でも自由に遊べるような場所に。
- ・施設内の移動がうまく出来るよう、迷わない配置を。
- ・中の広場に簡単な商店街を。
- ・開館時間は9時5時でなく、出来るだけ長く。理想は朝5時から夜12時まで。
- ・しがらみにとらわれず、利用者指向の使いやすいルールにして欲しい。
- ・冬期間でも交流広場を使えるように。
- ・1階部分を駐車場に。

C班

- ・いまのバス停は国道にあるが、敷地の中を通り、建物の前に停まるように。
- ・駐車場は外の敷地だけではなく、地下もしくは屋内にも。天候に左右されず、高齢者やベビーカーを使う人が出入できるように。
- ・天候に左右されずに冬でも使えるように緑や噴水の広場は屋内の回廊に。回廊はガラス張りに。
- ・屋内の壁に子供たちが遊べるロッククライミングなどを。

6. まとめ

谷津教授

かなり具体的なイメージの提案だった。今日は私の方で欲張り過ぎ、容易していたもう一つのテーマは次回ということで。前半敷地を見に行き、見慣れた土地とは思うが、何かをつくるという視点で入っ

てみるとまた違った風景が見えてくる。私は屋上に登って周りが全部山だということに気がついた。みなさんもいろんな発見があったと思う。いただいたアンケートは、私の方でまとめて次の回でお見せしたい。

敷地の使い方については、各グループで共通した考え方もある。前回同様にもう少しわかりやすく工夫をしてまとめてみたい。次回は今日できなかったグループごとのテーマを検討していただくことと、前回ご指摘いただいた「この施設そのものをどうやって市民に伝えていくか」ということやソフトの面を考えてみたいのでよろしくお願いします。長時間ありがとうございました。

7. 連絡事項

- ・ 次回は11月14日、交流センターが会場。
- ・ 前回もお伝えしたが、ワークショップの内容については市のホームページで公開している。写真の掲載に問題がある方は申し出てください。なお、参加者の氏名も公表したいと考えているので、公開に問題がある方は配慮するので申し出て欲しい。

8. 閉会